



最新の歯科医療と徹底した衛生管理

リキタケ歯科医院

## 失敗しないインプラント治療とは

リキタケ歯科医院 小冊子

## 【前章】 ～歯でお悩みの方へ～

### インプラントを行うメリットとは？

#### —はじめに—

今、この小冊子を手にとって下さっているあなたは、ご自分の歯に何かしら違和感やストレスを抱えていらっしゃるのではないのでしょうか。

もしかすると、歯で悩んでいらっしゃるご両親を心配されて、お読み下さっている方もいらっしゃるかもしれません。

虫歯や歯周病など、生活に影響を及ぼす痛みが起きたときはすぐに治療に行くけれど、

「最近入れ歯が合わなくなって噛みにくくなってきた」

「抜けた歯の見た目が悪くて、うまく笑えない」

こんなお悩みの場合、自分が少し我慢すれば大丈夫だと諦めてしまっていないでしょうか？

一日3回の食事、人とのコミュニケーション、この2つは生活の中で欠かせない時間であり、人生を豊かにする大切な要素ですよ。

それを少しでも我慢していたとしたら、心身の負担はさぞ大きかったことでしょう。

歯の悩みは、どんなに親しい人でも相談しづらいことだろうと思います。

「自分の歯で噛めるようになりたい」

「思いっきり笑えるようになりたい」

そんな希望を持って、あまり聞きなれない「インプラント」について書かれてあるこの小冊子を手にしていただいたのなら、とてもうれしく思います。

この小冊子では、「インプラント」という失った歯を補う新しい治療法について、難しい専門用語は使わずに、わかりやすく解説していきたいと思っています。

自分の歯で食べられる幸せ、自然と笑顔がこぼれる毎日を送っていただきたい。少しでもこの小冊子を手にとっていただいたあなたのお役に立てることを願っています。

## —失った歯を補う方法—

さて、インプラント治療と聞いてみなさんはどんなイメージをお持ちですか？

「最近よく聞くけど、一体どんな治療なのかわからない…」

「難しい手術をしなければならぬのでは…」

「保険がきかないから治療費が高そう…」

「新しい技術だからどれくらい持つのか心配…」

虫歯などの治療に比べると、経験したことのない治療法ですから最初は不安の方が先立ってしまうのも当然だと思います。

または、

「インプラントのことはいろいろと調べたけれど、保険のきかない自由診療だけに、どの歯科医院を選んでいいのか迷っている」

という方もいらっしゃるでしょう。

インプラントについてお話する前に、まず知っていただきたいのは、失ってしまった歯を取り戻すには、3種類の治療法があるということです。

私が歯科医として大切にしていることは、

「患者さまの身体にとって何が最適な治療法なのか」

可能性のある治療法すべてを提案するということ。

インプラントの素晴らしさや安全性を知っていただきたい、インプラント治療をお考えの方の不安を取り除きたいという思いが、この小冊子を書き始めた理由です。

けれど、インプラントの押し売りをしたわけではないのです。

手にとっていただいたあなたには、他の治療法やインプラントのデメリットも知っていただき、失った歯を補うには、いろんな方法があるんだと感じていただきたい。

そしてご自分に合った最適な治療法をみつけてほしい。

これが私のほんとうの願いです。

前置きが長くなりましたが、3つの治療法とメリット・デメリットをご紹介します。

1つ目は「**義歯(入れ歯)**」です。

みなさんもよくご存じかと思いますが、取り外しのできる人工歯です。外科手術をすることがないため、どんな歯の方でも装着することができます。健康な歯を削る必要はなく、保険も適用されるため、歯がなくなってしまったら、入れ歯にするしかない、と思っていらっしゃる方も多いことでしょう。

その反面、

「違和感や痛みをおぼえるけど、入れ歯だからしょうがない」

「食事中に食べ物がつまりやすい」

「バネが見えて見た目が悪い」

と装着後のお悩みが一番多いのも入れ歯です。

入れ歯はお口の中の老化や劣化によって、3年～5年ごとに補修が必要になってきます。

年齢を重ねるごとに体型が変わってきて今までの洋服が合わなくなってしまったという経験はありませんか？

もし、今あなたが「噛みづらくなった」、「喋りにくくなった」と感じていらっしゃるのなら、お口の中の状態と入れ歯が合わなくなってきているのです。

また、保険適用内で作る入れ歯は、材料が制限されていますから、オーダーメイドのように100%あなたの歯にぴったりフィットできなかったのかもしれない。

現在は、入れ歯の技術も進化しており、バネを使わないマグネット式の入れ歯なども出てきていますから、体力や健康面で入れ歯しか選択肢のない方でも、ご自分に合った入れ歯を作れるようになってきました。

2つ目の方法は「**ブリッジ**」です。

ブリッジとは、抜けた歯の両わきの歯を削り、3本の歯をつなげてかぶせもの(人工歯)を施す治療法です。

バネを使わないので、痛みを感じたり、見た目を気にする必要がなく、固定式なので噛みやすいのが特長です。

しかし、最小限とはいえ、両わきの健康な歯を削ってしまうこととなります。

歯が2本以上抜けてしまった場合は、抜けた歯の噛む力を支えるため、数本の健康な歯を削ることになります。

そのため、支える健康な歯に過度の力が加わってしまい、健康な歯への負担は倍増してしまいます。

また、保険適用内のかぶせものは、いわゆる銀歯(パラジウム合金)ですから、お口の中が見えてしまう部分には、倦厭する方もいらっしゃいます。

健康な歯と同じような白いかぶせもの(セラミックなど)は、自由診療になってしまうので、材質によっては高価になってしまいます。

そして3つ目は「インプラント」です。

インプラントとは、なくなった歯の部分にインプラントという器具を埋め(歯の根っこに相当する部分を植立する)、顎の骨と結合させて、上から人工歯を固定させる治療法です。

健康な歯を削ることなく、顎の骨にしっかりくっついているので、強い力で噛むことができるようになり、第二の永久歯とも呼ばれています。

器具と言っても、インプラントの素材は体にとって無刺激で、体になじみやすいチタン合金でできています。

見た目も自然で、自分の歯と同じように噛めるので、

「食事がおいしくなった！」

「口元に自信が持てて自然に笑えるようになった」

と、今まで入れ歯で辛い思いをしてきた方が喜んでくださる姿を見ると、私自信も素晴らしい技術なのだと改めて感じています。

みなさんが不安に感じていらっしゃるインプラントを埋め込む手術は、歯を抜く治療と変わらず、麻酔を使って1本、10分～15分で済んでしまいます。

しかし、インプラントと骨がくっつくのに、6週間～24週間かかるので治療期間が長いというのはデメリットかもしれません。健康状態によっては、インプラントを行えない方もいらっしゃいます。

また、保険がきかないため、入れ歯やブリッジに比べると高額なのも事実です。

しかし、しっかりメンテナンスしていれば、歯の老化や劣化に伴う補修は必要なく、半永久的に自分の歯と変わりなく使い続けることが可能です。

当院もそうですがカード払いや分割払いができたり、医療控除の対象になる場合もありますので、費用面の心配は遠慮なく歯科医院に相談するとよいでしょう。

失った歯を補う3種類の治療法をおわかりいただけましたか？

ここまで読んでいただくと、なんとなくインプラントがよさそうに感じるけど、何が自分に最適な治療法なのか、まだよくわからないという方がほとんどかと思います。

審美性・長期信頼性・装着感などを見れば、インプラントが優れている点が多いことは確かです。インプラントにされた周りの方の使用感を聞いて、すごい技術なんだと思っ  
ていらっしゃる方も多いことと思います。

しかし、インプラントは歯そのものを若返らせる「魔法の治療法」ではありません。

失った歯を今ある健康な歯と同じように再現できるのがインプラント治療です。  
人口の歯であるということ、長持ちさせるには、日頃のお手入れが欠かせないということ  
を頭に入れておいてくださいね。

### —歯を失った人が抱える悩み—

インプラントは「魔法の治療法」ではないとご理解いただいた上で、次のようなお悩み  
をお持ちでしたら、インプラント治療が有効ですよ、とおすすめています。

- ・入れ歯が動くため、発音・発声がおかしくなり、しゃべりにくくなった人
- ・営業職・調理師・タレントなど職業的に入れ歯では困る人
- ・入れ歯を入れることが精神的に負担になっている人
- ・事故などで歯が折れたり、抜けてしまった人
- ・取り外しの入れ歯がおっくうで、固定式の歯にしたい人
- ・美容的に入れ歯ではなく、自然な外観や表情のために天然の歯そっくりな治療を望む人
- ・入れ歯が合わない(痛い)、うまく噛めない、見た目が悪いと感じている人

- ・抜いた歯以外の歯をできるだけ健康に保ちたい人

私が診てきたインプラント希望の患者さまのほとんどが、入れ歯の不自由さを訴えていらっしゃいました。実際の不自由さが、心にストレスを与えてしまい、食べることや、おしゃべりをするのがおっくうになってしまったという方も少なくありません。

こういった患者さまたちが笑顔を取り戻したインプラントの具体的な治療方法を次の章から解説していきましょう。

## 【第1章】インプラント治療で失敗しないために

### ーインプラントのための歯科医院選びのコツー

インプラント治療をすでに検討されている方も、実際にどんな歯科医院に行けばいいのかホームページや口コミだけでは迷ってしまいませんか？

インプラントは新しい技術であるとともに、未熟な業界ですから、技術の進化とともに世界中で様々な論文や情報が飛び交っています。

インプラント治療を行っている歯科医院がすべて同じ治療法で、同じインプラントを使用しているのかというと、答えは「いいえ」です。

「え?!インプラントにもいろんな治療法があるの?」  
とびっくりさせてしまったらすみません。

根本的な施術法は同じですが、現在日本国内だけでも40~50種類のインプラントが回っているとされています。歯学部の授業にインプラントの臨床はありませんから、医師個人が学会や講習会でどんな技術を学んできたか、どんな製品を取り扱っているかによって多かれ少なかれ施術法は違ってくるのです。

これでは、患者さまもどんな歯科医院を選べばいいのか迷ってしまって当然ですね。インプラントを検討されている方へ、私がこれだけは外せないと考える歯科医院選びのコツをお教えします!

## 1. 治療前にしっかりカウンセリングをやっているか

インプラントを行うには、術前のカウンセリングが何よりも大切です。

入れ歯でどんな辛さを感じていますか？

これまで、歯科医院で嫌な経験をしたことはありませんか？

見た目のきれいな歯を求めていますか？噛める歯を求めていますか？

普段はどんなお手入れをしていますか？

持病や疾患をお持ちではないですか？

etc…

カウンセリングは、患者さまのニーズと身体の状態を把握して、最適な治療法と一緒にみつるける大切な時間です。

歯科医がカウンセリング中に、自分の医院はどんなインプラントを使用しており、そのメリットとリスクを率直に伝えてくれるかどうかポイントです。

どんなにインプラントを希望されても健康面において手術を行えない方もいらっしゃいますから、インプラントだけでなく、できる治療法をすべて提案してくれる医師が理想的ですね。

患者さまも長く付き合える人かどうか、信頼して任せられるドクターなのかカウンセリング中に判断しなければなりません。

あなたの大切な体の一部を預けるのですから、「このドクターなら」と思えるまで、コミュニケーションをとることは大切！

私はすべての治療においてこのカウンセリングが最も重要だと考えています。

医師の独断ではなく、考えられるすべての治療法をご説明し、患者さまと一緒に治療法を決めていく。そうして信頼関係を結んでいくことが、治療成功へのカギと言ってもいいでしょう。

## 2. 安全な製品と安心できる設備を揃えているか

先ほども触れましたが、今、日本国内には40～50種類ものインプラントが存在するとされています。中にはコピー商品まがいや、使用年数の短いものあるようですから、



あまり安価な治療費の場合には注意が必要です。

身体に直接入れるものですから、厚生労働省が認可している正規メーカー製のインプラントシステムかどうか必ず確かめることをおすすめします。

インプラント治療では模型・レントゲン写真(パノラマ、セファロ、断層、CT など)にて骨の状態や噛み合わせの状況について緻密な診断がかかせません。安全確実に施術し、長期にわたり機能的にインプラントをお使いいただくには術前の診断・計画が必要。

特に、CT 装置が院内に設置されているかは、診断・計画においてとても重要なポイントです。

また、消毒や滅菌を徹底して行っているかは当然の衛生管理。それだけでなく、器具はできる限りディスポーザブル(使い捨て)の器材を使用しているかもチェックすれば、安心感も高まりますね。

### 3. 担当医の経験と技量

高額の治療費がかかりますから、患者さまからすると、信頼するためにはここが一番気になる部分かもしれませんね。

ホームページや医院案内で、経歴を公表している医師がほとんどですが、インプラントの経験はわからないということはありませんか？

やはり、歯科医師の中にはまだインプラント治療経験の浅い方、古い知識や技術のまま更新しない方もいらっしゃいます。

ポイントは、経験の多い少ないにかかわらず、学会や講習会を受けて常に新しい情報に耳を傾け、自分の技術を日々研鑽している医師かどうか。

まだまだ新しく発展途上のインプラント業界です。新しい情報の真偽を自分の眼で確かめ、治療に取り入れていく努力はかせません。

症例数の多さを誇る医師もいるようですが、長期的なメンテナンスを十分に行うには、適切な症例数に限りがあります。歯科医師 1 人当たり年間 50~100 症例が適切な範囲といえるでしょう。

また、担当医師がインプラントにのみ傾倒しているのでは、お口の中全体の長期的健康は望めません。インプラント治療に関してはもちろんのこと、歯科医療全体への広い視野と技術を持ち合わせていることで様々な状況での問題に対応してもらえましょう。

この3点をクリアしてくれる歯科医院を選べば、きっと満足のいく結果を得られるはずです。

おや、

「力武先生は、どのくらいの経験と技量があるの？」

という声が聞こえてきますね(笑)。

僭越ながら私のインプラント経歴を紹介させていただきますと、

- ・インプラント治療を始めて16年になります。

- ・年間約100本のインプラントを施術しており、成功率はほぼ100%です。(16年間で0.3%の方が骨とうまくくつきませんでした。いずれもインプラントの再埋入で、最終的にはインプラントで噛めるようになりました。)

- ・私が07年～現在(09年6月)の間に参加したインプラントに関する研修は、合計72日間、延べ500時間を超えました。研修はもはやライフワークです！

- ・当院でインプラント治療に関わるすべての医師・スタッフには、学会・研修会によるトレーニングに行ってもらい、医院全体が専門チームとして治療できる体制を作っています。

- ・インプラントに関する資格や認定は次のものを習得しています。

**Straumann・ITI** インプラント認定歯科医師

日本口腔インプラント学会会員

日本ヘルスケア歯科研究会会員

**CID** 会員・**ITI** メンバー

厚生労働省認可社団日本歯科先端技術研究所会員

日本口腔インプラント学会指定研修115単位コース終了

- ・当院では、国際水準のサービス提供規格であるISO9001を取得しています。医療サービスは、人を思いやる気持ちが第一。

それに加えて、医師として日々技術の向上を目指し、患者さまに満足いただけるサービスを提供できるよう心がけています。

### —安心安全への配慮と無痛治療—

ここまで、インプラント治療に入るまでの概要をお話ししてきましたが、ここからは当院で行っている具体的なインプラント治療法をご紹介します。

歯科医院によって、治療法は異なりますので、比較検討されている方は参考になさってください。

安全な装置のところにもできましたが、インプラント治療を始める前にはカウンセリングだけでなく、レントゲン写真などを使った緻密な診断がとても重要になってきます。ここでインプラントを埋めるのに問題はないか、実際に埋めた後の噛み合わせはどうなるか、など様々なシミュレーションを行うのです。

そのために、当院では、個人医院には珍しい CT(3DCT 撮影装置)を完備しています。通常インプラント治療の前には必ず CT 撮影を行わなければなりません。そのため、CT を持たない医院では、大学病院へ撮影をしに行かなければならないのです。

低被爆で身体にやさしい最新の CT を導入し、3D 画像でインプラントイメージをリアルな画像でお伝えすることで、より患者さまに安心していただきたいと考えています。

また、初診時に使用するレントゲンもデジタルレントゲンを採用し、被爆量、環境への配慮も最小限に抑えています。

そして、患者さまに一番恐れられているのが注射時の「痛み」でしょう。幼い頃の怖かった経験や独特の感触を忘れられず、苦手意識を持っている方も多いですね。

当院では「コンピュータ制御注射器」を使うことで、ほとんど無痛で麻酔をかけることが可能になりました。この注射器は、注入速度を自動で制御し、一定の速度・一定の圧で注入することにより、痛みを最小限に抑えてくれます。

注射液を体温 (37°C) に暖め、注入時の痛みを和らげているので、「え？終わったの？」というくらい「痛み」知らずの治療を実現しました。

また、どんなに短い手術でも、万全を期すため、「生体情報モニター(サークルメイツ)」を用いて施術を行います。治療中の最高最低血圧・動脈血酸素飽和度・脈拍をモニタリングすることにより患者さまの状態を随時把握し、安全安心な治療を行っています。

設備をご紹介するだけで長くなってしまいましたが、事前の準備、安全な環境こそが、患者さまに最も安心していただける要素だと考えているのです。

### —手術後、腫れたり痛みはないの?—

注射の次に患者さまが心配されるのは、手術後の腫れや痛みについてだと思います。

どうしても骨の中を触る処置になりますので、個人差はありますが、術後の腫れが出てしまいます。通常は、術後 1~3 日がピークで、1 週間程度で消失します。親知らずを抜いた後を想像していただければいいでしょう。

術中は麻酔をしているので、ほとんど痛みを感じることはありません。麻酔が切れてくる術後 1~3 時間後に 1 度痛みが生じますが、お渡しする鎮痛剤でほぼ解消されます。手術後は、鎮痛剤が来ていればひどい痛みを生じることはまずありません。

神経へのトラブルなどは、術前の綿密なシミュレーションと、術後診査をしっかり行うことで、防ぐことができます。オペの 2 日以内には来院していただいて術後ケアを行い、1 週間後に抜糸を行います。

その他、みなさんが抱えている疑問やお悩みは第 3 章で解決していきましょう。

## [ 第 2 章 ] インプラント治療の流れとは?

では、実際の治療の流れを順にご紹介していきます。

### —1 回目・初診&カウンセリング(約 30 分)—

まずは口腔内診査を必ず行います。一般的な歯科健診と同じようにレントゲンをとって、今現在すぐにインプラント治療が適応する状態か否かだけでなく、虫歯や歯周病がないかを診断します。

その後、インプラント治療の症例やメリット・デメリット・治療の進め方・治療費の概算などをご説明します。その際に、患者さまの希望をお聞きした上で最適な治療方法を決めていきます。

1章でも言いましたが、このカウンセリングが最もじっくり行う「治療」です。我々医師の独断ではなく、患者さま個人のライフスタイル、健康状態、抱えている歯のお悩みをよくお聞きして、考えられるすべての治療法を挙げ、相談して治療法を決定します。

ご自分の歯にどんな治療が最適かわからないという方もご相談ください。

ここまでの診察は、保険適用内ですから、初診時には必ず保検証をご持参ください。

### —1回目・精密検査(約20分)—

精密検査は、カウンセリング終了後、インプラント希望の場合は、同日に受けることができます。3DCTは撮影してから結果が出るまで1時間くらい要しますので、初日にできるのはここまでになります。

ここからは自由診療枠となり当院での費用は10,500円(税込)です。(インプラントオペを受けた方には返金いたします)

### —2回目(初診より3日~1週間後)・治療計画の説明(約30分)—

撮影した3DCTの画像と一緒に治療計画とお見積りを立てて、お渡しします。具体的にどのような治療をするのか、注意事項と合わせてお話しします。

この時点で患者さまにインプラントを行うか、判断していただきます。

費用の面などお持ち帰りになって検討される方もいらっしゃいますので、精密検査を受けたからといって手術をしなければいけないわけではありませんので、ご安心ください。

体力面に自信のない方や、あまりに難しい症例、インプラントではなく、入れ歯やブリッジの方が最適と判断すれば、私たちから、いくつかの提案をさせていただき、ご相談のうえ、各々に最適な治療方針を決めていきます。

### —3 回目～(必要に応じて)・インプラント治療のための前処置—

お口の中の状態としてすぐにインプラント治療ができない方もいらっしゃいます。歯周病が進行している方などは、まずお口の中の機能回復をしてあげてから、インプラント治療に入ります。

実際、ほとんどの方は予防処置を行います。インプラント植立に差し支えなければ、平行的に虫歯治療などを行うことも可能です。最適なインプラント植立位置の確保のために 矯正治療を行うこともあります。

### —4 回目(前処置終了後)・インプラントの埋入手術(30分～1時間)—

インプラントを骨の中に埋め込みます。この段階で、歯の根に相当する部分を骨の中に植立したことになります。インプラントの埋入自体は1本当たり10～15分で終了しますが、術前の消毒・麻酔、術後の安静などを含めると1～2時間かかるとお考えください。

### —6 週間～24 週間・インプラントの結合安定期間—

インプラントと骨がしっかり結合するまで約6～24週間待ちます。(＊骨の状態や骨増生の有無などで期間が異なります。)

「この期間、患者さまはどんな状態なのですか？」

「仮歯は入っているのでしょうか？」

とよく聞かれますが、一般的なのは、何も入れない状態です。インプラントの頭が見えている場合もありますが、基本的には負荷をかけることは行いません。見た目に関係があるところであれば、仮歯を入れる場合もあります。

当院で採用しているストローマンインプラントのいいところは、結合期間が短いと言う点が挙げられます。早ければ6週間で結合します。当院では念のため8週待っています。

かなり条件のいい場合に限っては、インプラント体埋入とともに仮の上部構造を装着して、即日を使用できることもあります。一般的には、インプラント埋入処置をしてから2～3ヶ月後に噛めるようになるとお考えいただければと思います。

#### —5回目・安定期間後の2次処置(約20分)—

埋まっているインプラントの頭を出し、人工の歯を接続するアバットメントという土台を取り付けます。

#### —5回目・人工歯の型取り(約30分)—

人工歯の型を取り、歯並びや色をチェックしながら人工歯をつくります。

人工歯の種類も患者さまのご希望に沿ったものになるよう様々な種類をご用意しています。審美性、機能性をご説明しますので、ご予算に合わせて最適なものをお選びください。

#### —6回目(型取りから1週間後)・人工歯の装着—

人工歯ができるまでの期間は、1週間です。その際に、仮歯を作って様子を見ることもできます。人工歯はインプラントが結合していればいつでも交換可能です。

人工歯装着には、半永久的なセメントでつける方法や、多くはないですがスクリューで止める方法、仮のセメントで止める方法と様々ですので、ホワイトニングなどで色味を変えたいなどといった場合でも対応可能です。やはり半永久的なセメントでつける場合が自然にお使いいただけるでしょう。

#### —7回目(人工歯装着から1週間後)・治療後の定期チェック—

人工歯を仮付けした後はまず1週間後に定期検査をします。

その後はだいたい1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月後に定期検査をします。具体的にどんな定期検査を行うかという点、最初に噛み合わせのチェックです。次に清掃状況のチェック。この2点です。

患者さまの使い心地など伺いながら、インプラントを長持ちさせるために、この2点の経過状況を検査します。

以上がインプラント治療の具体的な進め方です。初診から最後のチェックまで、2か月～3か月で、自分の歯で咬むことができるようになります。

## 【第3章】 インプラントのお悩み解決Q&A

### —インプラントをもっとよく知ってもらうために—

インプラント治療はここ 20 年の間に急速に進歩し、多くの歯科医院で取り組める治療方法となりました。

失った歯を補う治療方法としての画期的な選択肢となった一方、さまざまな情報が交錯し、患者さまに誤解や混乱が生じることで、迷惑をおかけすることは避けなければなりません。

リキタケ歯科医院では、安心安全なインプラント治療を常に心がけ、日々診療にあたっております。

ここで、インプラント治療に関する患者さまの疑問にお答えし、当院の考え方・取り組み方についてご理解いただければと思っております。

#### Q：セカンドオピニオンをもらえますか？

A：インプラント治療の経験・考え方・器具・材料などにより歯科医師によって治療方針が多少違ってくることがあります。

他の医院でも話を聞きたいという場合には、セカンドオピニオンとしてのお話をさせていただきます。また、他の医院での見解も聞きたい方には、レントゲン写真のコピーをお渡しすることもできます。(CT データに関しては有料となります)

#### Q：誰でも治療を受けられますか？

A：

##### 【年齢】

顎の骨が成長しきっていないお子様には適応できません。

他の要因に問題がなければ、年齢の上限はありません。当院での最高齢は 85 歳です。

##### 【血圧】

血圧の高い方でも薬などでコントロールされている方は術中慎重にモニタリングしながら行います。



### 【心臓病】

必要に応じてかかりつけのお医者さんにお問い合わせをして病状を確認してから行います。

### 【糖尿病】

外科処置の予後が良くないことが多く、慎重な病状の検討が必要です。薬や食事によって十分にコントロールされているときには適応できることがあります。

### 【骨そしょう症】

骨の状態を CT で精査することが必須です。また、ビスフォスフォネートを服用されている方は、外科処置の後に骨への異常が発現することがあり、インプラント治療の対象にはなりません。

### 【協力度】

患者さまの協力度はたいへん重要な要因です。術前術中には、術後の管理も多くの部分を患者さまの努力が占めます。

### 【歯】

欠損した歯の数による制限はありません。

### 【歯ぎしり】

インプラント治療後にも歯ぎしりをされる方には、噛む力を分散させるためにプラスチックのプレートを就寝時に装着していただくことがあります。

### 【歯周病】

インプラント治療前に歯周病の治療を行い、メンテナンスが十分に行われている状況であれば、インプラント治療は適応できます。

### 【骨の形態】

インプラントに適した骨の形態はあります。  
一方、骨の増生やインプラント埋入の位置・傾斜の工夫により治療は可能になります。  
このためには 3DCT による 3 次元的な診査・診断・計画が必須となります。

インプラントはまだ新しく未熟な業界ですから、異常が見られなかった最高症例でも約 30 年が最長です。

インプラントを末永く、ご自分の歯と同じようにお使いいただくためには、日頃からお口の中を清潔に保っていただく心がけは欠かせません。口腔内清掃の方法や、禁煙へのアドバイスもいたしますので、インプラントにしたいが難しいのでは…とお悩みの方はご相談ください。改善に向けて取り組んでいきましょう。

**Q：タバコを吸っていてもいいですか？**

A：喫煙している方にインプラント治療を行った場合、予後が必ずしも芳しくないことが知られています。

この機会に禁煙して頂くのが、インプラントを長く持たせることとなります。

**Q：安全な治療ですか？**

A：術前の診査において安全に配慮した治療計画を慎重に立てます。

外科処置になりますので、院内感染などにも十分に配慮して進めます。

材料に関しては厚生労働省認可があり、欧米含め世界各国で長年使用されているStraumann(ストローマン)社(スイス製)のITIインプラントを使用しています。

ストローマン社製インプラントを採用した理由として、品質管理の良さだけでなく、インプラント治療に適応する状態の方(全身疾患や重度の歯周病などを患っていない方、難しい外科手術を必要としないオーソドックスな症例の方)にとって、非常に成功率が高い製品であることが挙げられます。

当院は個人歯科医院として、絶対に失敗してはならないという責任のもと手術に取り組みます。成功率の高い、間違いのない製品を扱うことで、より患者さまに安心していただきたいと考えています。

長年インプラント治療に携わっていますが、我々医師にとっても安全に取り扱え、安心して施術できるインプラントだと実感しております。

**Q：金属アレルギーはでませんか？**

A：インプラントに使用されているチタン合金に関して、金属アレルギーを生じることには非常にまれなことと考えられます。

学会でもごく少数の報告がされているにすぎません。

**Q：他の歯への影響はありませんか？**

A：インプラントが骨の中で他の歯に接触した場合には影響が出るがありますが、

これは事前の CT 診査で確認しておけば十分に避けることができます。  
良い影響としては、インプラントにより噛み合わせの力を分散できることで、他の歯を保護することが期待できます。

**Q：骨・神経への影響はありませんか？**

A：お口の中の軟組織、骨には複雑な神経・血管の走行が見られます。  
また、個人差も大きいので、術前に CT 撮影を含めた慎重な診査が必要となります。  
診査・治療計画をシュミレーションソフトを活用して十分に行うことでそれらの組織への影響を最小限に抑えることができます。

**Q：どれくらいもちますか、使えますか？**

A：全身状態やお口の中の状態で適応症の間違いがなく、インプラント治療後のメンテナンスを確実に行っていけば、10年以上はもつと考えています。  
われわれの最長の症例が15年経過し、現在更新中で、継続的に通われている患者さまは皆様長期間にわたって問題なく使用して頂いております。

**Q：何本入れればいいのですか？**

A：必ずしも失った歯の本数を入れる必要はありません。  
それぞれの患者さまとの相談において、お口の中の状態、骨の状態、治療費用・期間、どれくらいしっかり噛みたいかといったことで、必要なインプラントの本数を決定していきます。

**Q：どの程度かめますか？**

A：インプラントの上部構造（歯の頭に相当する部分）が入った後、噛んだときの違和感がしばらくありますが、多くの患者さまは数週間～1か月程度で天然の歯と同じように違和感なく噛めるようになっていきます。

**Q：どこまで自然に近づきますか？**

A：インプラントは規格された大きさ、太さがありますので、完全に天然の歯と同じということにはなりません。  
ただ、見た目がほとんど天然の歯と変わらない、日常生活で違和感なく使用できるという点では、ほぼ自然な状態に近づけることができます。

**Q：費用のことについて誰に相談できますか？**

A：治療費用に関しては当院専属のカウンセラーとご相談ください。  
治療方法・治療の進め方、お支払方法の工夫についてもご相談させていただきます。

<治療例>

右下奥歯 6, 7 番 (大臼歯) の 2 歯が失っており、インプラントをした場合

#### 【カウンセリング】

- ・インプラント治療について
- ・患者さまの現在のお口の中の状態について
- ・虫歯や歯周病について

お話し致します。

#### 【精密検査】…診断料 10,500 円 (税込)

※3DCT 撮影、3D シュミレーションを含む

お口の中の模型、レントゲン写真・お口の中の写真を元に分析をして、インプラント治療の計画、費用をお話し致します。

#### 【インプラント埋入手術】…手術費 157,500×2=315,000 円 (税込)

1 本あたりおおむね 30 分の治療時間です

#### 【かぶせ物装着】

・パラジウム前装冠(噛む部分が金属で側面が白い歯。低価格ですが、耐久性は十分)の場合 : 136,500 円×2 本=273,000 円 (税込)

・金合金セラミックス(芯が金属でその周りに芯の部分が金合金でその周囲にセラミックスを焼きつけたもの。咬む部分を含めて歯の色に合わせて作るの、審美性が高い。)の場合 : 157,500 円×2 本=315,000 円 (税込)

精密検査費 10,500 円 (税込み) 割引

#### 【合計】

パラジウム前装冠の場合 : 588,000 円 (税込み)

金合金セラミックスの場合 : 630,000 円 (税込み)

#### 【インプラントのお支払方法】

現金 (一括・分割) のほか、クレジットカード、デンタルローン (最高 120 回まで可能) をご利用いただけます。お気軽に、ご相談ください。

#### Q : 心の準備としてはどうすればいいですか？

A : 皆様、何日も前から緊張される方が多いようです。

確かに小さいとはいえ外科手術ですから緊張しないでという方が無理とは思いません。

できるだけリラックスしてご来院ください。

歯科医師はじめスタッフが万全の準備をしてお待ちしておりますのでご安心ください。

**Q：手術後に気をつけることは何ですか？**

A：

**【麻酔】**麻酔が効いている間は頬や舌を噛まないように、やけどしないようにご注意ください。

**【うがい】**出血を早く止めるためにはあまり頻繁にうがいしないことが肝要です。

**【歯磨き】**ゆっくり丁寧にお願いします。特に埋入オペ後に縫合の糸を引っ掛けないようにご注意願います。

**【洗浄・消毒】**術後2～3日以内に消毒に来ていただきます。

**【風呂】**長湯をしなければ問題ありません。シャワー程度が無難と思われれます。

**【運動】**埋入オペ当日の激しい運動は避けてください。

**【お酒】**絶対にいけないということはありませんが、控え目をお願いします。

**【たばこ】**禁煙でお願いいたします。喫煙された場合、確実にインプラントの寿命は短くなると思ってください。

**Q：手術後の歯ブラシはどうすればいいですか？**

A：縫合した糸の付いている間、術野周囲はゆっくりと丁寧に磨いてください。

その後、縫合した糸をとったあとは術前と同じように磨いていただいて構いません。

術後数週間して歯肉が安定してきたところで、インプラント周囲を専用のブラシで清掃することを願います。

みなさんがお知りになりたい情報はありましたでしょうか？

もっと詳しく知りたい、こんなときどうすればいいの？という質問がありましたら、お気軽に当院までお電話・メールでお問い合わせください。

## 【第4章】患者さまの声

### ●58歳男性

「使っていた入れ歯に違和感があったんです。前々からしっかりと噛みたいと思っていました。インプラントを入れてからは、何でも噛めるようになりましたね。今じゃ、色々な食事を楽しんでおります」

#### 【院長のコメント】

この患者さまは、あごの骨の幅がやや細かったのですが、3DC Tの検査所見により安全・確実にインプラントを植立できました。上部構造はジルコニアというオールセラミックスで作製し、審美性に配慮した治療を行いました。

### ●46歳男性

「奥歯を抜いてから、そのままにしていたんです。片方の顎でしか噛めないで、食事がうまくできませんでした。思えば当時は、体調がすぐれず、肩こりや頭痛もありましたね。今では、左右でしっかりと噛めるので、すっきりとした感じですよ。正直言うと、入れ歯は年寄りっぽくて嫌だったんですよ(笑)。今回はずっと健康な歯でいられるように、定期健診にも通っています」

#### 【院長のコメント】

この患者さまは、噛み合わせの力がやや強かったのを覚えています。今では、しっかりと奥歯で噛めるようになって、前歯の保全にもなっています。また、熱心に定期健診にも来ていただきありがとうございます。

### ●28歳女性

「歯が割れて放置していたんですが、だんだん痛くなって……それで治療を決意しました。インプラントが入ったことで、口元を気にしないで思いっきり笑えます。今ではすっかりなじんで、自分の歯と同じカンカクですね」

#### 【院長のコメント】

彼女の歯は、根が割れてしまっていたので、やむを得ず抜くこととなりました。当初からインプラント治療をご希望であったので、歯を抜くところから、周囲の骨を保全し、最小の外科処置で済ませることができました。

### ●51歳男性

「仕事が忙しくて、奥歯の治療していたところを外れたままにしていました。結果、前

歯でしかご飯を食べられなくなってしまったんです。うまく噛めず、見た目もみっともない…。さらに放っていたら、右上の歯も外れかかってきたんです。インプラントにしてからは、思っていたより時間がかからず、きれいに歯が並びました。もっと早くから治療しておけばよかったと少し後悔していますね」

【院長のコメント】

右上はソケットリフトという骨を増生する方法を併用して、インプラントの長期的な安定性に配慮しました。

●67 歳男性

「入れ歯を作っては壊れを繰り返し、だんだんと歯が少なくなってきました。丈夫で長持ちする治療を希望していたんです。インプラント治療をしてからは、ぐらついていた歯の部分もしっかりして、若返ったような気持ちになりましたね」

【院長のコメント】

上下左右とも骨の状態が良く、予知性の高い治療ができました。噛む力が強いので今後とも噛み合わせの調整をこまめにしていきたいと思います。

## 【 第5章 】 インプラントでいつまでも元気で幸せに。

### — 歯科医として —

ここまでこの小冊子をお読みいただきありがとうございます。

はじめに手に取ったとき感じていた不安やお悩みが少しは解消されたでしょうか？

1章でもふれましたが、私がこの小冊子を書いたきっかけは、歯にお悩みを抱えていらっしゃる方に、「こんな治療法もあるんですよ」ということを知って欲しかったからです。

インプラントの発展は目覚ましく、長年携わってきた私も、画期的で素晴らしい治療法だと実感しています。

しかし、インプラントがすべてではありません。

インプラントは魔法の治療法でもありません。

すべての患者さまには、おひとりおひとりに合った最適な治療法があると思っています。その中でインプラント治療がどんどん進化し、多くの患者さまが快適にお使いいただける技術として発展しています。

私は歯科医として、悩みを抱えていらっしゃる一人でも多くの方に、笑顔になってほしい、自分の歯で噛める喜びを取り戻してほしいと願い、進化しつづけるインプラント治療を研究し、技術向上に努めてきたように思います。

私の父は、東京の恵比寿で開業した歯科医でした。

小さい頃から親しみを感じていた職業で、モノづくりが好きな子供でしたから、歯学部に入って臨床実験が始まると、この仕事は自分に向いているな、好きなことを職業にできるんだ！と希望に胸を膨らませたことを覚えています。

歯科医にとって、手先の器用さは大切な資質と考えています。

新しいもの好きで、ひとつのことにのめり込む性格からか、休日はほとんど学会や研修会に出掛けてしまうのも、技術向上を名目に、趣味のような感覚でワクワクしながら足を運んでしまいます(笑)。

開業して長となった今、自分の知識・技術研鑽は必要なものと考えていますが、やはりスタッフにも技術向上してほしいと願っています。

勤務医時代、勤め先の医院長は、多くの学会や研修会へ行かせてくれました。外部で学ぶ多くの情報や技術は面白く、もっと知りたい、スキルアップしたいとモチベーションが上がったことが、今の私を作ってくれたといっても過言ではありません。

ですから、当院のスタッフには、毎週月曜には30分、技術をレクチャーしたり、ビデオを観たり、各々が受けてきた講習会の話聞かせたりという場を設けています。

さらに、歯科医だけでなく、衛生士、助手、受付スタッフ全員が何かしら外部で学んでスキルアップすることを義務づけています。歯科に関する専門的な分野に限らず、話し方や接客、コミュニケーション講座なども受けてもらっているんです。



「行かないと定期昇給はなし！」と厳しいルールを設けていますが、どのスタッフも意欲的に出かけてくれます。

厳しさに音をあげて辞めていくどころか、全く辞める気配がありません(笑)。本当に長く働いてくれるスタッフばかりで、いいチームワークができているなど自負しています。スタッフのモチベーションが上がることは、患者さまに満足していただけるサービスを提供できることに繋がると、院長として確信しています。

こうした日々の研鑽を、一人でも多くの方のお役にたてる医療サービスとして提供していきたい、これが私の目指す歯科医像です。

私が考える医療サービスの根本は、

「スタッフ・患者さま、治療に関わるすべての人たちに思いやりを持って接すること」だと信じて、日々の治療に向きあっています。

### —おわりに—

最後まで読んでいただきありがとうございました。

高齢化社会と言われる 21 世紀ですが、平均寿命が延び、元気で、ハツラツとした高齢の方の姿を見ると、こちらが元気をもらうこともしばしばあります。

元気に年を重ねるためには、食事をおいしくいただくこと、自信を持って笑顔をつくれることは、大切なエッセンスです。

21 世紀の医療は、痛くなる前の予防的医療が第一だと思っています。予防を目的に日頃のメンテナンスを行ったうえで、失ってしまった歯を取り戻せる治療法のひとつが、インプラントです。

噛める醍醐味、笑える幸せを多くの方にもう一度体感してほしいと心より願っております。

お伝えしたいことはまだまだありますが、ここに書けることはこれが精いっぱいです。はじめての小冊子で、わかりづらい表現や説明が不十分なところもあったかもしれません。ご意見やご質問がありましたら、お気軽にご相談ください。

あなたのお口の健康と豊かな人生を心より願って。

2009年11月24日 リキタケ歯科医院 力武 康次



リキタケ歯科医院  
院長 力武 康次

〔連絡先〕

リキタケ歯科医院

【住所】東京都豊島区南池袋 1-18-17 I&K ビル 4 階

【電話番号】 03-3980-4618 (サンキュー歯は白い歯)

【診療時間】 月～金/10:00～13:00、15:00～22:00  
土日/10:00～13:00、15:00～17:00

【診療科目】

当院は、患者さまとの十分なカウンセリングと元に総合的な歯の治療を行います。患者さまのスタイルにあった治療を行うために、インプラント以外の治療にも対応しております。

- ・インプラント (人工歯根)
- ・一般歯科・矯正歯科・歯科口腔外科・予防歯科
- ・小児歯科・歯周外科・審美歯科・マグネット義歯
- ・アタッチメント義歯・ホワイトニング (美白歯科)
- ・デンタルエステ・PMT C・歯のクリーニング
- ・かみ合わせ治療・顎関節治療・歯の健康相談
- ・お口のことに関する御相談

【URL】 <http://www.4618implant.com/>